公益社団法人
# 日本美術教育連合ニュース
No. １５９
２０２０．７

〒113-0033　東京都文京区本郷2-30-14　文京ビル206号
公益社団法人　日本美術教育連合
発行人　理事長　大　坪　圭　輔
ニュース担当　北　川　智　久
E-mail:info@insea-in-japan.or.jp

## －Covid19と美術教育－

研究局担当理事　　結　城　孝　雄

予想だにしなかった感染症Covid-19によって、世界が大きく変わってしまった。「新しい生活様式」は、人と人をつなぐコミュニケーションにフィルターを通すが如く直接の関わりを避けることを薦めています。with coronaの世の中では、五感の一つとしての触る、触れるという皮膚感覚も避ける行動になってしまいました。コミュニケーションを伴うあらゆる「関わり」の再考を求められているかのようです。また、非常時における芸術のあり方も、余暇的存在なのか、必要不可欠な存在か、その課題を浮上させることになりました。

時を同じくして、InSEAの学会誌は、特集号として「Learning through Art」を組んでいます[i]。今後の世界共通の研究視座として示された概念は、社会正義、教育学、視覚文化、環境問題をはじめとする地球規模の課題解決に向けて、芸術を通した教育、学びの「関わり」を提案するものです。Art Educationは、世界と地域に関わりながら、学習者が「Learning through Art」を実現できる環境を創出する存在と言えるでしょう。

急変する社会の変化に苦慮する事態を経験した私たちは、希望を持って、この事態を克服したいと考えます。社会が困難に直面する時こそ、芸術教育が活躍する時と捉え、遠隔授業実施に向けた４月以降、意欲的な実践が展開されています。外出自粛と休校の中で子どもたち向けの造形活動の動画提供、オンライン授業での取り組みと工夫、休館となった美術館が所蔵作品の情報発信と、暮らしと芸術の結びつきを示すものです。

私たちは、デジタルの可能性と限界を確認しつつ、新しいステージに立ったように思います。今年度の研究発表会は、２年続けての休止を回避すべく、天候や社会状況に影響されないオンライン研究発表会として、多くの参加者を募りながら、このコロナ状況下における美術教育の先端（エッジ）を示したいと思います。FaceBookにInSEA評議員の佐藤真帆さんが日本語掲示板を開設されて情報共有が広がりました。昨年、中止となった第53回研究発表大会でも、エッジとして、海外ポスター発表の他に、手話通訳者を交えた研究発表も予定されていました。

社会状況を敏感に反映し、教育に転用する私たちの領域は、エッジを拡大しつつ、困難な状況でも前に進んでいく存在です。今年も意欲的な発表者の皆様のお申し込みをお待ちしています。

i　https://www.insea.org/

## 第54回　日本美術教育研究発表会2020　案内

１．日　時　　2020（令和２年）年10月11日（日）　９時～17時00分（予定）
２．会　場　　ZOOMオンライン会議上
　　参加のためのアクセスコード等は、発表者・参加者へ別途配信
３．主　催　　公益社団法人　日本美術教育連合（InSEA-JAPAN）
４．後　援　　文化庁（申請中）

# 第10回定時総会（郵送による）結果報告

第６期理事長　　大　坪　圭　輔

新型コロナウイルス感染予防に対応し、郵送にて実施いたしました第10回定時総会は、会員の皆様のご協力により、無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。６月からは第６期の役員体制により、この厳しい状況下においても美術教育の振興を目指し、会員の皆様の教育実践や研究の発展を期して活動を展開していく所存です。下記に総会の結果を公開いたしますので、ご確認のほどをお願いいたします。

なお、今回の郵送による総会開催につきましては、内閣府からの指導を基に、本連合定款の定めと齟齬のなきよう実施いたしましたことを報告いたします。

１　総会開催の決定

令和２年３月８日開催、第５期令和元年度第８回理事会

２　総会議案及び開催方法の決定

令和２年４月13日開催、第５期令和２年度第１回理事会

３　総会開催通知及び議案の公開、郵送による総会開催の告知

令和２年４月１日発行日本美術教育連合ニュースに総会開催通知を掲載するとともに、令和２年４月13日にホームページにて議案を公開し、郵送による総会とすることを告知した。

４　総会議案書及び議決通知書の送付

令和２年５月２日郵送による。

５　会員からの議決通知書送付有効期間

令和２年５月２日より同年５月22日まで（当日消印有効）

６　議決通知書送付先

北澤俊之事務局長宛

東京都文京区白山５－28－20　東洋大学

７　議決の方法

令和２年４月13日開催、第５期令和２年度第１回理事会承認

①全会員からの議決通知書郵送によって決する。

②過半数の会員による議決通知書の期限内返送をもって総会の成立とする。

③各議案は期限内に郵送された議決通知書の過半数の賛成をもって承認とする。

④「第１号議案第６期役員選出の件」については、候補者毎に議決するものとする。

⑤「第２号議案」及び「第３号議案」については、各項目を総合して議決する。

⑥「報告事項」については、意見を問うものとする。

８　議決通知書の集計確認

理事及び監事、事務局長、総会議長候補者、議事録署名人候補者による臨時拡大理事会を開催し、通知書の集計を行い、各議案の承認等を確認するものとする。

９　議決通知書集計確認のための臨時拡大理事会の開催

招　集　通　知　　令和２年５月23日

日　　時　　令和２年５月31日11：00 ～ 11：40

方　　法　　Zoomシステムを用いた電磁的方法により開催
議決通知書のPDFファイルを全出席者に配信
出席した理事　　大坪圭輔　奥村高明　西村徳行　山口喜雄　結城孝雄
欠席した理事　　なし
出席した監事　　宮坂元裕
欠席した監事　　榎原弘二郎

最初にZoomシステムの機能に問題がないことを確認し、定款に従い大坪圭輔代表理事が議長に就任した。議長は出席確認の上、理事会の成立を宣するとともに、今回の臨時拡大理事会は、第10回定時総会議決通知書の集計確認が目的であり、総会機能の一部を代行するものであることを確認した。このため議長は、北澤俊之事務局長及び畑山未央総会議長候補者、手塚千尋総会議事録署名人候補者の同席を求め承認された。また、理事会による総会機能の一部代行であることから、会員からの本会への陪席要請についてはこれを認めることを確認した。

10　総会成立確認

北澤俊之事務局長より会員数235名に対して、議決通知書は148通で過半数を超えており、定款第18条に照らし、総会が成立した旨説明があり、確認の上、承認された。

11　議長及び議事録署名人の選出

北澤俊之事務局長より、本件に関する議決通知書の集計は下記の通りであり、事務局一任となった旨説明があり、確認の上、承認された。

事務局一任　　賛成146　反対０　保留０　記入なし２

よって、総会議長に畑山未央氏を、議事録署名人に手塚千尋氏を事務局より推薦する旨報告があり、承認された。

12　審議事項

大坪圭輔理事会議長が総会審議事項については総会議長が担当することを宣し、畑山未央氏が総会議長に就任し、議事進行を務めた。

第1号議案　第６期役員選出の件

各候補者に関する議決通知書の集計が下記の通り示され、確認の上、承認された。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①理事選出 | 奥村　高明 | 賛成148 | 反対０ | 保留０ |
| | 大坪　圭輔 | 賛成148 | 反対０ | 保留０ |
| | 西村　徳行 | 賛成148 | 反対０ | 保留０ |
| | 山口　喜雄 | 賛成148 | 反対０ | 保留０ |
| | 結城　孝雄 | 賛成148 | 反対０ | 保留０ |
| ②監事選出 | 榎原弘二郎 | 賛成148 | 反対０ | 保留０ |
| | 宮坂　元裕 | 賛成148 | 反対０ | 保留０ |

第２号議案　令和元年度事業報告の件

令和元年度事業報告に関する議決通知書の集計が下記の通り示され、確認の上、承認された。

令和元年度事業報告　　賛成148　反対０　保留０

第３号議案　令和元年度決算及び監査報告の件

令和元年度決算及び監査報告に関する議決通知書の集計が下記の通り示され、確認の上、承認された。

令和元年度決算及び監査報告　　賛成148　反対０　保留０

報告事項1　令和２年度事業計画の件

大坪圭輔代表理事より、本件に関する議決通知書に記載された意見が、下記の通り示され、確認の上、今後の運営検討に反映してくことになった。なお、今回の郵送による総会に関する法的根拠に関す質問があった。

・教員養成課程における美術教育縮小に対する懸念と各県持ち回りでの研究発表会の開催
・Webによる研究発表会の開催検討
・手話通訳者及び自動音声文字変換ツールの導入関する要望

報告事項２　令和２年度収支予算案の件

大坪圭輔代表理事より、本件に関する議決通知書に記載された意見が、下記の通り示され、確認の上、今後の運営検討に反映してくことになった。

・入会における会員推薦の必要性
・分かりやすい表記を

その他全般に関する意見

大坪圭輔代表理事より、本件に関する議決通知書に記載された意見が、下記の通り示され、確認の上、今後の運営検討に反映してくことになった。

・理事会人事について
・教育実践報告、研究論文の方法講座開設の要望
・感染予防時代を踏まえた造形教育の対応や方法に関する提言の必要性
・台風や感染症拡大に対する対応への要望
・図画工作科及び美術科の授業時数増加への取り組みの必要性と、教育委員会担当指導主事の減少懸念
・美術教育講演会のできるだけ早い開催
・多様な活動を期待
・InSEAについては日本語で分かりやすく伝えるHPやSNSがあると理解が進む
・イベントは地方会員の視点や参加を促すアイデアが必要

13　総会議長解任

以上をもって畑山未央総会議長はすべての議案審議の終了と、総会議長の解任を宣した。

14　閉会

大坪圭輔理事会議長は、以上をもって臨時拡大理事会の閉会を宣するとともに、本日をもって任期満了となる第５期役員に対して謝意が示された。また、第６期理事及び監事による臨時理事会を本会終了後直ちに電磁的方法によって開催することと、同じく第６期役員による令和２（2020）度第３回理事会・運営委員会を６月７日に電磁的方法において開催することを確認した。

以上

補足

以上の総会決議の確認のための臨時拡大理事会終了後、直ちに、総会で承認された第６期の理事及び監事による臨時理事会を、Zoomシステムを用いた電磁的方法で開催し、理事及び監事への就任の承諾を確認するとともに、理事互選によって大坪圭輔理事を代表理事（理事長）に選出いたしました。

# (1) 貸　借　対　照　表

令和2年3月31日現在

（単位：円）

| 科　　目 | 当　年　度 | 前　年　度 | 増　　減 |
|---|---|---|---|
| 1　資産の部 | | | |
| 1.　流動資産 | | | |
| 現金預金 | 853,756 | 577,359 | 276,397 |
| 流動資産合計 | 853,756 | 577,359 | 276,397 |
| 2.　固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 2,600,000 | 2,600,000 | 0 |
| 図　　書 | 2,500,000 | 2,500,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 5,100,000 | 5,100,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | 0 |
| 新事業準備預金 | 33,352 | 32,573 | 779 |
| 特定資産合計 | 33,352 | 32,573 | 779 |
| (3) その他固定資産 | | | 0 |
| 敷　　金 | 60,000 | 60,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 60,000 | 60,000 | 0 |
| 固定資産合計 | 5,193,352 | 5,192,573 | 779 |
| 資産合計 | 6,047,108 | 5,769,932 | 277,176 |
| II　負債の部 | | | 0 |
| 1.　流動負債 | | | 0 |
| 未払金 | 1,618,674 | 1,440,752 | 177,922 |
| 短期借入金 | | | 0 |
| 前受金 | 352,000 | 72,000 | 280,000 |
| 預り金 | | 27,567 | △ 27,567 |
| 流動負債合計 | 1,970,674 | 1,540,319 | 430,355 |
| 2.　固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 450,000 | 550,000 | △ 100,000 |
| 固定負債合計 | 450,000 | 550,000 | △ 100,000 |
| 負債合計 | 2,420,674 | 2,090,319 | 330,355 |
| III　正味財産の部 | | | 0 |
| 1.　一般正味財産 | 3,626,434 | 3,679,613 | △ 53,179 |
| （うち基本財産への充当額） | (5,100,000) | (5,100,000) | (△163,569) |
| （うち特定財産への充当額） | (33,352) | (32,573) | (779) |
| 正味財産合計 | 3,626,434 | 3,679,613 | △ 53,179 |
| 負債及び正味財産合計 | 6,047,108 | 5,769,932 | 277,176 |

# 収　支　予　算　書

令和2年4月1日から令和3年3月31日

公益社団法人日本美術教育連合

（単位：円）

| 科　　目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増　減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1．　経常増減の部 | | | | |
| (1)　経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | 1,200 | 1,200 | 0 | |
| 基本財産受取利息 | 1,200 | 1,200 | 0 | |
| 受取入会金 | 45,000 | 45,000 | 0 | |
| 受取入会金 | 45,000 | 45,000 | 0 | 注1 |
| 受取会費 | 1,440,000 | 1,350,000 | 90,000 | |
| 受取正会員会費 | 1,290,000 | 1,200,000 | 90,000 | 注2 |
| 受取賛助会員会費 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 事業収益 | 850,000 | 700,000 | 150,000 | |
| 受取論集広告料 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 受取論集掲載料 | 550,000 | 550,000 | 0 | |
| 造形美術養成講座 | 150,000 | | | 注3 |
| 受取補助金等 | 151,000 | 301,000 | △ 150,000 | |
| 受取寄付金 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 受取利息 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 雑収益 | 100,000 | 250,000 | △ 150,000 | 注3 |
| 経常収益計 | 2,487,200 | 2,397,200 | 90,000 | |
| (2)　経常費用 | | | | |
| 事業費 | 1,455,000 | 1,555,000 | △ 100,000 | |
| 講師料費 | 40,000 | 0 | 40,000 | |
| 消耗品費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 印刷製本費 | 995,000 | 995,000 | 0 | |
| 通信運搬費 | 145,000 | 145,000 | 0 | |
| 諸謝金 | 60,000 | 100,000 | △ 40,000 | |
| 資料費 | 0 | 100,000 | △ 100,000 | 注4 |
| 会議費 | 210,000 | 210,000 | 0 | |
| 管理費 | 762,000 | 817,000 | △ 55,000 | |
| 会議費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 旅費交通費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 通信運搬費 | 5,000 | 10,000 | △ 5,000 | 注5 |
| 賃借料費 | 400,000 | 450,000 | △ 50,000 | 注6 |
| 消耗品費 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 印刷製本費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 支払負担金 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 委託報酬 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 雑費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 経常費用計 | 2,217,000 | 2,372,000 | △ 155,000 | |
| 当期経常増減額 | 270,200 | 25,200 | 245,000 | |
| 当期一般正味財産増減額 | 270,200 | 25,200 | 245,000 | |
| 一般正味財産期首残高 | 3,679,613 | 3,863,288 | △ 183,675 | |
| 一般正味財産期末残高 | 3,949,813 | 3,888,488 | 61,325 | |
| Ⅱ　正味財産期末残高 | 3,949,813 | 3,888,488 | 61,325 | |

注1 新入会員15名として　　注4 前年度支払額なし
注2 会員数215名として　　注5 非改選年のため減額
注3 啓発事業部養成講座参加費　　注6 非契約更新年のため減額

| 公益社団法人　日本美術教育連合　第６期　理事会・運営委員会<br>(任期：令和２（２０２０）年６月１日～令和４（２０２２）年５月開催予定第１２回定時総会) | | | |
|---|---|---|---|
| 理　事　会 | | | |
| 理事長 | | 大　坪　圭　輔 | 統括 |
| 理事 | | 奥　村　高　明 | 事業局担当 |
| 理事 | | 西　村　徳　行 | 国際局担当(事務局財務担当兼任) |
| 理事 | | 山　口　喜　雄 | 美術教育連携交流担当 |
| 理事 | | 結　城　孝　雄 | 研究局担当(事務局担当兼任) |
| 監事 | | 榎　原　弘二郎 | |
| 監事 | | 宮　坂　元　裕 | |
| 運　営　委　員　会 | | | |
| 研究局 | 理事 | 結　城　孝　雄 | 研究局運営委員長 |
| | 運営委員 | 小　林　貴　史 | |
| | 運営委員 | 笠　原　広　一 | |
| | 運営委員 | 立　川　泰　史 | 論集編集委員長 |
| | 運営委員 | 林　　耕　史 | |
| | 運営委員 | 藤　井　康　子 | |
| | 運営委員 | 山　田　一　美 | |
| | 局員 | 赤　木　恭　子 | |
| | 局員 | 佐　藤　仁　美 | 事務局局員(ニュース担当)兼任 |
| | | | |
| 事業局 | 理事 | 奥　村　高　明 | 事業局運営委員長 |
| | 運営委員 | 手　塚　千　尋 | |
| | 運営委員 | 三　澤　一　実 | |
| | 運営委員 | 小　池　研　二 | |
| | 局員 | 山　田　　猛 | |
| | 局員 | 大　櫃　重　剛 | |
| | | | |
| 国際局 | 理事 | 西　村　徳　行 | 国際局運営委員長 |
| | 運営委員 | 仲　瀬　律　久 | |
| | 運営委員 | 直　江　俊　雄 | |
| | 運営委員 | 茂　木　一　司 | |
| | 運営委員 | 藤　崎　典　子 | |
| | 局員 | 佐　藤　真　帆 | InSEA アジア地区評議員 |
| | | | |
| 事務局 | 理事 | 西　村　徳　行 | 財務担当(国際局運営委員長兼任) |
| | 理事 | 結　城　孝　雄 | (研究局運営委員長兼任) |
| | 事務局長 | 北　澤　俊　之 | |
| | 運営委員 | 北　川　智　久 | HP 担当 |
| | 運営委員 | 畑　山　未　央 | |
| | 局員 | 佐　藤　仁　美 | ニュース担当(研究局局員兼任) |
| | | | |
| 美術教育連携交流担当 | 理事 | 山　口　喜　雄 | 美術教育連携交流担当委員長 |
| | 運営委員 | 長　田　謙　一 | |
| | 運営委員 | 橋　本　光　明 | |

事業局より

# 公益社団法人日本美術教育連合主催　造形・美術教育力養成講座<br>第６期について（第１次案内）

事業局長　奥村　高明

「日本美術教育連合」は内閣府の承認を得た造形・美術教育にかかわる唯一の公益社団法人です。公益事業として、毎年連続講座を実施し、子どもと造形表現をめぐって理解を深め、講義と演習を通して教育実践力を高める講座を行っています。第６期は、今年度の課題を踏まえ、昨年度までのテーマ「越境し、拡張する美術」をさらに拡大し「越境し、拡張する美術－美術／美術教育へのアクセシビリティを再考する」をテーマとし企画いたします。2/3以上を受講し、規定を満たした参加者には、公益社団法人日本美術教育連合の「認定書」を授与します。どうぞ奮ってご参加ください。

１．対象：幼保・小・中・高・大学教員、学生・院生、美術館関係者、画塾経営者、連合会員、美術教育関係者、特別支援教育及び障害者支援関係者、一般等。

２．日程及び内容等：１講座１コマ(90分×１コマ：講義)で構成し、２か月に１回程度、全体で４講座（合計４コマ）をオンラインで開催します。

３．参加方法等
（１）　コクチーズを用い、事前に申込のあった方に、参加アドレス、入金方法をお知らせします。
（２）　近日中に日本美術教育連合HPに詳細を告知します。

４．参加費
（１）　１回の講座あたり1,000円（日本美術教育連合会員・学生・院生は、500円）

５．講座概要
（１）　Zoomを用いたテレビ会議システムを用いて行います
（２）　詳しい内容や期日、講師等に関しては後日告知します（以下実施内容及び時期の目安）。
①　第１回講座　2020年９月以降～アート体験を継続する美術館の実践について
②　第２回講座　2021年２月以降～テクノロジーを用いた美術教育のデザインについて
③　第３回講座　2021年１月以降～障害者の美術活動や作品商品化の展開について
④　第４回講座　2020年11月以降～美術教育のオンライン教材開発の現状について

６．ご不明な点等は　事業局　日本体育大学　奥村高明（okumura@nittai.ac.jp）まで

研究局より

# 第54回　日本美術教育研究発表会　2020
## 【一次案内】

公益社団法人　日本美術教育連合理事
研究局運営委員長　結城　孝雄

本法人は1965年InSEA　東京世界大会の精神「国際理解と美術教育の前進」を基に組織され、今年で54回目の研究大会を迎えます。昨年度は、日程が台風19号と重なり、残念ながらの中止の措置を取らざるを得ませんでした。安全を考えての措置とはいえ、発表者の皆様には、ご心配ご迷惑をおかけしました。今年度も、COVID-19の影響下、実施が危ぶまれます。そこで、今回は、オンライン会議による研究発表会を実施することに決定しました。

従来の口頭発表（発表20分＋協議５分）の他に、①モジュール口頭発表（発表30分＋協議25分）３コマも継続実施いたします。本会での発表は、『日本美術教育研究論集54　2021』への投稿資格となります。これまでの研究発表者は日本各地にわたり、各学校教育の教員、美術館学芸員、行政職、院生・学生、海外（韓国・中国・メキシコ）と多彩な内容でした。「美術を通した人間形成」と教育に熱意ある方々の研究発表とご参加を心よりお待ちしています。

### 参　加　要　項

□開催日時：　2020（令和２年）年**10月11日（日）**　９時～ 17時00分（予定）
□会　　場：　**ZOOMオンライン会議上　参加のためのアクセスコード等は、発表者・参加者へ別途配信**
□参加費等：　参加費500円（概要集代として）事前申込みは、必要で、先着150名、会員以外の方でも参加できます。詳細はHPにて、９月上旬告知
『日本美術教育研究発表会　2020概要集　web版』を配信いたします。
□主　　催：　公益社団法人　日本美術教育連合
□後　　援：　文化庁（申請中）

### 研究発表申込WEB入力期限　８／21（金）24:00

□発表資格：　共同発表者も含め、会員であること。入会には本会会員１名の推薦が必要です。新規入会希望者は「研究発表〈口頭発表〉申込書」と共に「入会申込書」を本法人HPから印刷し、本事務局長宛てに送信ください。身近に会員がいない場合は、下記の問合先にご相談下さい。入会時に、入会金3,000円および本年度会費6,000円の郵便振り込みが必要です。前回、未発表の内容も再度エントリー可能
http://insea-in-japan.or.jp/
□発表時間：　〈通常口頭発表〉20分質疑応答５分移動・準備15分〔発表者総数により変更有〕
〈モジュール発表：３組募集〉30分＋質疑応答　25分移動・準備15分〔役員会で選定〕
□発表区分：　Ⅰ群・Ⅱ群・Ⅲ群の３区分があり研究発表申込。WEBサイトにどれかを明記して下さい。
**Ⅰ群：理論・実践研究論文（査読あり、投稿時に英文のサマリーが必要です）**
**Ⅱ群：実践研究報告等（査読あり、題目のみ英文標記）**
**Ⅲ群：研究ノート（査読あり、題目のみ英文標記）**
□発表方式：　プレゼンテーションソフトを用いたオンライン会議による発表。
□発表申込：　申込WEBサイトへの入力　**期限厳守：2020年８月21日（金）24:00**
WEBサイト名「第54回　日本美術教育研究発表会2020　研究発表申込」
**発表申し込みサイトは、本会HPからお知らせします。申し込みサイトを開き「＊」必須項目を記入します。**

| | |
|---|---|
| １）お名前 | 11）所属／役職 |
| ２）ふりがな | 12）発表時使用ソフト（pawer point・key note・gogle slide他） |
| ３）メールアドレス | 13）（公社）日本美術教育連合の会員資格の有無 |
| ４）メールアドレス(確認) | 14）発表区分（Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群） |
| ５）郵便番号 | 15）モジュール発表希望（あり、枠に余裕あればあり、なし） |
| ６）都道府県 | 16）発表概要文600字以内の提出　info@insea-in-japan.or.jp |
| ７）住所 | 17）勤務先・職名（学生・院生は学校名・学年・専攻名　正式名称） |
| ８）ビル・マンション名 | 18）発表者全員の所属・氏名（氏名は和英表記　多数も連動表記） |
| ９）TEL | 19）発表題目／和英表記 |
| 10）FAX | 20）メッセージ（特になし、記入は300字以内） |

入力が完了しましたら、返信メールが届きます。必ずご確認ください、未完了の場合があります。
□概 要 文：　E-mallの送付先：info@insea-in-japan.or.jp【氏名・所属（正式名称）題目・概要文600字】
E-mallの件名に（●連合発表2020　申込「氏名」とお書き下さい）
E-mallの送信後10日後以内に受付確認の返信がない場合は念のため再度送信して下さい。

### 備考・問合先

□発表時程：　９月下旬発行の『連合ニュース160号』に掲載し、会員に送付する予定です。
□問 合 先：　研究局運営委員長　結城孝雄　takaoyuki@tokyo-kasei.ac.jp
事務局長　北澤俊之　kitazawa@toyo.jp

公益社団法人日本美術教育連合 主催

# 《 総会記念リレー美術教育講演会2020 》のお知らせ

## 演題 バウハウスと日本の美術教育
## ―「構成」・「造形」教育の系譜と現在―

《総会記念リレー美術教育講演会2020》は、当初５月１０日（日）の公益社団法人日本美術教育連合定期総会終了後に実施予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大にともない中止を余儀なくされました。その後も、リアルなリレー講演会をめざして試行錯誤を重ねましたが、国内外の状況を鑑みて「ＺＯＯＭ開催」とします。リレー講演会趣旨・時程などはフライヤーに記載してあります。

本リレー講演会関連の「『きたれ、バウハウス――造形教育の基礎――』展が、巡回最後の会場として東京ステーションギャラリーにおいて７月１７日（金）～９月６日（日）に開催されます。事前申し込み制等、新型コロナウィルス対策の開館入場条件が付される可能性があります。本連合の公式ホームページを必ずご覧ください。

□日　時　令和２(2020)年　８月２３日(日)
〔１３：００事前申込者のみＺＯＯＭ参加を受付ます〕
１３：３０開会～１６：３０閉会予定

□場　所　ＺＯＯＭ開催　**事前申込みが必要！ 定員１００名**
申込詳細は７月中旬 https://insea-in-japan.or.jp/に公知（予定）
（※ InSEA－公益社団法人日本美術教育連合公式ホームページ）

□第１部　バウハウスの教育 再考
講師：　杣田佳穂（そまだ）（ミサワハウスコレクション学芸員・『きたれバウハウス』展監修）
指定討論者：小林貴史（東京造形大学教授）

□第２部　日本の「構成」・「造形」教育 再考
講師：　藤原智也（愛知県立大学准教授）
指定討論者：茂木一司（群馬大学教授）

□第３部　討　議　　上記全登壇者・総合司会　司会:コーディネイター

□運　営　美術教育連携交流委員会
山口喜雄（元宇都宮大学教授）
長田謙一（首都大学東京客員教授）
橋本光明（すみだ北斎美術館館長）

□連絡先　kenn.nagata@gmail.com 長田謙一

## 申込の際に諸記載事項と「誓約」が必須です

ＺＯＯＭ開催管理の都合で申込定員は１００名です。７月３１日までは公益社団法人日本美術教育連合「会員」を優先に、「７月中旬https://insea-in-japan.or.jp/に公知」する〈 こくちーず 〉から受付ます。参加費は「無料」、先着順のため非会員の方からのお申し込みは受理できない場合もあります。参加の可否は個別のメールで返答します。 氏名・メールアドレスほか、諸記載事項の記入が必須です。

【重要】学術研究内容のリレー講演会のため画像・映像・史資料・テキスト等の提示が予想されます。そのため、参加申込者にはＺＯＯＭ上ならびに他の方法によるいっさいの「録音・録画・撮影等を行わない誓約」をしていただきます。

公益社団法人　日本美術教育連合総会記念　リレー美術教育講演会 2020

# バウハウス 100+1

# バウハウスと日本の美術教育

## ―「構成」・「造形」教育の系譜と現在―

1919 年、ワイマールに誕生したバウハウスは、社会における造形諸領域と建築の新しい在り方を求め、その実現のために必須の営みとして造形教育の革新に実験的に立ち向かった。印刷物や訪問報告等を通して始まったバウハウスの日本への影響は、水谷武彦、山脇巌・道子等がバウハウス留学を終えて帰国することで本格化した。バウハウス教育は川喜田煉七郎らによって新しいデザイン教養教育の場に受け継がれ、一方で専門教育の転換に連動し、他方ではさらに武井勝雄らを加えて普通教育としての「構成教育大系」へと定式化され、また間所はるらの教育実践のなかで一段と展開されてもいった。戦後、1954 年のグロピウス来日を契機に、普通教育の中の美術教育の中にデザイン教育を新たに位置づけるだけでなく美術教育の全体を造形教育としてとらえ返し組み替える思想・実践・運動をも生み出した。

21 世紀日本の美術教育は、その造形教育をも踏まえ大きく包含したうえに、21 世紀のさらに更新された社会システムの中で現に展開している。本リレー講演は、この現代日本の美術教育の視点から、バウハウス 100 年を検証検証する場として、また同時にバウハウスという光源から日本の美術教育の現代を照らし返す場として企画される。（文　長田謙一）

**無料**
要事前申込
定員 100 名

※日本美術教育連合の会員でなくても参加できます。
　7 月 20 日 ( 月 ) まで会員優先、以後先着順。
※本シンポジウムは新型コロナウィルス感染拡大にともないオンラインでの開催になりました。
※【重要】申込に際し、著作権保護の観点から「録音・録画・撮影を行わない誓約」を必須でお願い致します。

**2020（令和 2）年 8 月 23 日（日）　13：30～16：30(13：00 開場)**

## ZOOM によるオンラインシンポジウム

※詳細については、本連合のホームページを必ずご覧ください。→https://insea-in-japan.or.jp/
※お申込は、こくちーずからお願い致します。→https://kokucheese.com/event/index/598404/

### 当日のケジュール

開会あいさつ　**結城 孝雄**　（公益社団法人日本美術教育連合理事・東京家政大学教授）
企画趣旨　**長田 謙一**　（コーディネイター・パネル司会・東京都立大学客員教授）

### ●第 1 部　バウハウスの教育 再考 13:45 ～14:30

講師：　**長田 謙一**
指定討論者：　**小林 貴史**　（東京造形大学教授）

### ▲第 2 部　日本の「構成」・「造形」教育 再考 14:45 ～15:30

講師：　**藤原 智也**　（愛知県立大学准教授）
指定討論者：　**茂木 一司**　（群馬大学教授）

### ■第 3 部　討議 15:30 ～16:30

上記全登壇者・総合司会　司会：コーディネーター・長田 謙一
運営：美術教育連携交流委員会　**山口 喜雄**（元宇都宮大学教授）**橋本 光明**（すみだ北斎美術館長）

InSEA

担当・連絡先：「バウハウスと日本の美術教育」事務局　長田 謙一　k_nagata@tmu.ac.jp
公益社団法人 日本美術教育連合
主催：公益社団法人 日本美術教育連合 理事長　大坪 圭輔・武蔵野美術大学教授

design by k.mogi, 画像は Birgit Böllinger(Pixabay から )

# 事務局便り

**■会員の異動**（敬称略）

〈退会者〉阿部美里・服部鋼資・和田　学

**■定時総会委任状・議決通知書郵送のお礼**

当初、５月10日開催予定だった「令和２年度　第10回定時総会」が郵送による開催になったことにともない、会員のみなさまには連続して委任状および議決通知書の返送をお願いすることになりました。お手数をおかけしましたが、おかげさまで総会議事録にありますように、無事総会を成立させることができました。ここに改めて会員のみなさまのご協力に感謝申し上げます。

**■令和２年度（2020年度）会費納入のお願い**

**年会費　6,000円　を　納入してください。**

**【郵便振替】**

（公社）日本美術教育連合　**口座番号00170-1-86036**

**【ゆうちょ銀行以外の金融機関（ネット銀行を含む）からの送付先】**

《銀行名》ゆうちょ銀行　《支店番号》019　《預金種目》当座　《口座番号》0086036

納入期限　2020年８月21日（金）

＊同封の振り込み用紙をご利用ください。（恐れ入りますが手数料はご負担ください。）

＊過去３年以上会費未納の方につきましては、今回ご入金いただけない場合「除名」という対応をとらざるを得ません。ぜひ納入にご協力ください。なお今回のお願いと行き違いですでに納入済みの方には、失礼をお許しください。

■お問い合わせ先：公益社団法人　日本美術教育連合　事務局　北澤　俊之
〒112-8606　東京都文京区白山５-28-20　東洋大学文学部教育学科
TEL&FAX：03-3945-8568（研究室）
E-mail：kitazawa@toyo.jp